

会 議 録

- 1 会議の名称 図書館協議会
- 2 開催日時 令和6年2月28日（水）午前10時分～11時30分
- 3 開催場所 熊取町立熊取図書館 2階ホール
- 4 議題
案件1 委員長・副委員長の選出について
案件2 令和6年度図書館事業計画について
案件3 その他
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 0人
- 7 審議会等の概要

●案件1 委員長・副委員長の選出について

委員長に山本委員、副委員長に森本委員が選出された。

●案件2 令和6年度図書館事業計画について

【事務局からの説明】

「令和6年度図書館事業計画」（事前配付資料）について、重点的に取り組むものや新しく取り組むもの、施策番号④世代や実情に応じた情報発信として町HPやSNS（町LINEや図書館公式Instagram）の積極的な活用や電子図書館の活用、施策番号⑦蔵書を活用したさまざまな企画展示、施策番号⑧と⑭住民団・関連機関等と連携して実施予定の図書館開館30周年事業、施策番号⑮施設の計画的な維持管理として非構造部材耐震化への計画的な取り組みの一環として実施予定のZEB化可能性調査、施策番号⑰子ども読書活動推進計画の次期策定に向けたアンケートの実施や住民提案協働事業「エンタメKUMATORI」・JICA関西と観光大との3者で開催予定「多言語えほんひろば」について、令和5年度の状況を踏まえながら説明した。

【委員からの主な意見・感想等】

○町LINEでの広報の効果が高い。

○図書館公式Instagramで紹介されていた電子図書館のライブラリームーブフォワード特別賞はどういう賞か。

→熊取町が導入している電子図書館システムを提供している事業者が、同じシステムを導入している公共図書館を対象に、電子図書館の利用促進をした図書館に向けて設けた賞で、当館の受賞理由は、町内大学への出張利用登録及び電子図書館のPR、本と電子書籍をコラボした特集展示、利用者に向けたスマホからの使い方を説明するイベントの定期的な実施、住民主催の大規模イベントでの体験会などさまざまな取組みが評価された。

○能登の震災や日本や世界の情勢などについて、ネットでの情報は偏りや間違いがあるので、図書館で資料の収集をしながら提供をする難しさはあると思うが、特集展示をする工夫などを聞かせて欲しい。また、能登や沖縄などの今のことを図書館から発信することも今の時代大切ではないか。

→世界情勢に関する本は時事的なもので展示するほどの所蔵がないので特集するのは難しいが、震災に関しては令和5年度には「防災・減災」をテーマとした関連の特集展示を何度かしており、1月に展示したときが一番よく貸し出された。展示する時期も大事であると思う。また、沖縄に関しては返還50周年の年に特集展示をした。書店と違い図書館は所蔵しているもので展示することになるので、どれだけ利用者に関心をもってもらえるかが課題。その時にできる時事的な特集には取り組んでいきたい。

○利用者数はどうなっているか。

→コロナの時に比べれば回復してるが、右肩下がりの状況。平成27年度には、貸出人数が延べ10万人を超えているのが、令和5年度の上半期で3万5千人、令和4年度1年間で8万1千人。いろんなことをしながら、どうすればよいかと考えているが、利用の回復は難しい。

○新規の登録はどうか。

→新規登録は増えている。大学に行って登録の受付をしたことも増えた要因につながっている。しかし、以前のようにブックスタートで半強制的に新生児の利用カードを作っていないので、新生児の利用登録は減っていると思われる。

○シニア世代の新規登録はどうか。

→転入者は、登録に来られる場合が多いと思われる。また、仕事をリタイアして図書館デビューされる方もいるので、年代で分析はしていないが、シニア層の登録は比較的多いと思われる。

→＜委員＞分析すると面白いのではないかな。

○役場職員や議員は図書館を利用しているか。

→職員の中には、元々図書館が好きな者もいるので利用はあるが、議員は一図書館利用者としての利用がかなり少ない。

○文庫の状況はどうなっているか。

→＜委員＞コロナで一般利用を一旦ストップしたが、コロナが落ち着いても一般利用が戻ってきていない状況。地域の方はどう呼びかけて利用してもらうか課題である。

●案件3 その他

次回の図書館協議会は5月頃に開催予定。

8 審議会の情報	名称	図書館協議会
	根拠法令等	図書館法、図書館条例
	設置期間	平成6年4月1日～
	所掌事項	図書館の運営に関する事
	委員数	10名
9 担当課	図書館	